

高速・大容量の地域イントラネットを活用 Web GISで地域と市民の情報化を目指す

GeoBase®
選ばれてNo.1* Web GISはジオ・ベース。

長野県大町市 総合情報センター
制作:株式会社こうそく

長野県の北西部に位置する大町市は北アルプスの玄関口であり、広大な自然と3万人の市民を抱えている。学校や病院などを光ファイバーで結ぶ地域イントラネットを導入し、長野県下でも有数の情報化推進地域である同市では、このほどWeb GISによるデジタル空間情報の全庁利用をスタートさせた。平成17年には近隣町村との合併も予定されており、地域情報化による市民サービスの向上を目指す大町市では、利便性を重視した全庁規模のGIS運用が行われている。

蓄積された豊富な空間データを Web GISで有効活用

大町市の地図データ整備は昭和50年代にまで遡る。道路台帳、上水道台帳、下水道台帳等都市インフラ整備事業に始まり、1/1,000地形図や航空写真、都市計画図といった市の骨格を形成する豊富な空間データがデジタル化され、蓄積されてきた。

一方で政府が掲げるe-Japan重点計画による電子自治体の実現に向けた高速イントラネットが整備され、誰もが簡単な操作で必要な地図データを取り出せる空間情報システムをつくりたい、という強い要望が生まれていた。

使いながら検証と改善を重ね ユーザーの利便性を最重視

平成14年には、全庁での地図情報の有

効活用に向けて、庁内イントラネットを活用した部門間でのデータ相互利用と、市民への情報公開をにらんだWeb対応のGISの導入が決定された。

大町市で特徴的なのは、まず小規模な試験運用サイトをスタートさせ、使いながらネットワークで公開する地図データやアプリケーション、個別で作成できる簡易GISなどの機能・使い勝手などを検証しながら改善していく手法である。月1回の各部門担当者による全庁レベルでの意見交換、さらに逐次メールで利用者の意見交換ができるサーバーを設けるなど、部門間の意思疎通を図る体制をつくっている。

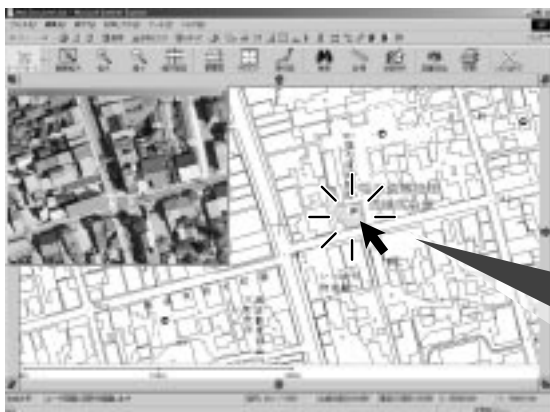
平成15年7月には特定部署の端末に配信を行い、実地レベルでの検証と各課一人のリーダー育成を兼ねた実運用が始まり、この10月からは全庁300台のパソコンによる本格的な利用が行われている。

市民への情報公開に向けた 取り組み

特記すべきは、市の目指す方針として、地域イントラネットを活用した空間情報を市民に公開することによる、相互の情報共有の実現にある。市の職員を対象としたWeb GISの庁内利用は、情報の一般公開に至るひとつの過程とも言える。

現段階はシステムの運用と操作の利便性を検証する重要な時期でもあり、蓄積した情報の管理保管方法、公開すべき情報の選別や利便性の向上が行われる。

今後の周辺市町村との連携をにらみ、光ファイバーでの地域イントラネットを通じた、より広域なWeb GISへの展開が期待される。



2画面表示
航空写真と都市計画図で、同じ地点をわかりやすく表示



属性情報表示

地図上で独自の図形表現、詳細情報(説明文、概観写真、関連情報など)の書き込み、閲覧が簡単に出来る。

Dawn corp.
www.dawn-corp.co.jp

株式会社ドーン

神戸本社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通2-2-21 三宮グランドビル 5F
Tel. 078-222-9700 FAX. 078-222-9702
東京営業所
〒105-0012 東京都港区芝大門2-12-9 浜松町SSビル 2F
Tel. 03-5777-1033 FAX. 03-5777-1031



*自治体Web統合型GIS エンジンシェアNo.1